

議会だより

勝央町

126号

目次

- 2～7 一般質問
- 8・9 議案審議・組合議会報告・陳情・要望
- 10・11 決算審査・委員長報告
- 12 とんどまつり・成人式・編集後記

「議会にひとこと」アンケートにご協力下さい



私たちも勝央町を守ります 女性消防団員

一般質問



水島 孝 議員

外に目を向け、

町民の目線で行政を

町長 国の給与を越えている場合は考える

問 私は前回本会議場において特別職（三役）、正職員との給与の削減を求めて参りました。東日本大震災における（二年限定）給与が7・8%削減された。国会議員も年間300万円（二年限定）削減された。地方自治体も追随せよとの発表があった。

た。町長（前回答弁）は給与の削減は受け入れられないとの発言であったが、再度、本会議場において7・8%の削減を求めてまいりたい。特に二役（副町長・教育長）の給与が高額である。町民の附託も受けず、町長の推挙のみで高額な給与が手にできる。この制度（条例）は改めるべきではないか。

答町長 来年度には審議会を立ち上げ、特別職の給与について審議する。職員の給与も検討を加える。

共済金（年金）の負担比率がおかしい

問 民間の年金比率は労働者側が50%、雇用者側も50%、我が町は正職員が45%、町の負担が55%。この

比率を均等にできないか。

民間企業の比率と変わらない

答町長 国が公的負担を別枠にて町の方に差額が戻ってくる、町の負担の比率は変わらない。

どうする正職員の再雇用は

問 来年度より民間・公務員に再雇用する義務がある法律が成立した。その対応の準備がなされているのか。

条例により再雇用は可能

答町長 地方自治体は審議が充分なされていない。町の条例により再雇用は可能。

20年間で最大18億円の損失

問 ごみ問題について、土地

購入費問題が司法に提訴された。裁判所の認定価格7441万円、購入額4億2100万円。この購入費を町長はどう思うか。また、工事の遅延はないか。美作市がごみ処理センターの建設工事をされている。勝央町の参入を強く要望している。維持費・処理費が安い。20年間で最大18億円もの損失。美作市への参入に向けて考えるべきではないか。新クリーンセンターからの撤退を議論すべきではないか。完成時には職員の出向が求められるのではないか。

新クリーンセンターからの撤退は考えていない

答町長 二業者の鑑定士により評価格どおり購入した。司法への提訴でも建設の遅延はない。

今言えることは新クリーン

センターからの撤退は考えていない。完成時において職員の出向はあり得る。

教育委員報酬について

問 今、全国で教育問題が大きな課題となっているが、

教育長の年報酬が1,110万に対し教育委員の年報酬が22〜25万円とはあまりにも低すぎるのではないか。

審議会にて検討する

答町長 近隣市町村も変わらない。審議会にて検討する。

町営住宅の改修について

問 築造から30数年、経年劣化が進み、一度全体の改修工事が必要ではないか。年金生活・母子父子家庭で低所得者の住居人が多く、どこへも行く所がないのが実状です。町長はどのように考えているのか。また家賃を、10年近く滞納している人がいるが、なぜ長く放置しているのか。

廃止の方向へ

答町長 廃止の方向である。（小さい修繕はします。）

答 税務住民部参事

今後は訪問や法的退去を含めた対応を致します。



野上 忠夫 議員

駐輪場の防犯カメラの設置目的は？

町長 抑止効果を期待している

中学校に設置した駐輪場防犯カメラについて

問 設置後はどのように運用しているのか？いたずら等に対して抑止効果があるのか、設備選定についてどういう検討がなされたのか？

いたずら行為の抑止効果はある

答 町長 損壊行為やいたずらはなくなったと聞いている。

たとえ子供がやっても犯罪行為に対しては毅然とした対応をする

答 教育長 駐輪場で自転車のテールランプが多数壊される等したことからPTAや学校側と協議し設置を決定しました。その後、業者から見積もり入札を行ない抑止効果を期待できる設備を設置しました。運用は教育委員会

が行うことにしていますが、録画映像を解析し個人を特定するには性能不足を感じております。自転車壊すというのは器物破損罪であり学校としても被害届を出し警察に任せる。そうしたことも抑止につながると思います。

問 バリアフリーと言われだして久しいが勝央町内の公共施設について町民目線で使い便の向上と改善を図っているのか？

答 町長 予算の関係で現地調査をしながら年次年次に補修を実施しています。又、経費節減対策として夜間照明を切っているところもありますが利用者の安全を確保することも考えて対応したいと思っています。

設置目的は？

答 教育長 不備があれば当初予算に加えるよう指示を出しております。

勤労者体育センターの改修計画の進捗度は？

問 勤労者体育センターの改修計画について現段階の状況は？本改修計画については民主党政権当時の国の防災減災の予算をあてにして計画したものでした。ところが国の方針として使途を東日本大震災の直接被害県に限定することになりました。その後、衆議院解散選挙の結果政権が自民党に変わった。そのことにより今後のゆくえや方針に影響はあるのか？

答 町長 設計図面を基に行う県のヒアリングが延期され

現時点で変更はない

答 町長 設計図面を基に行う県のヒアリングが延期され

ている状況です。衆議院が解散し政権交代がなされた今、不透明な部分もあるが手厚い手当を期待している。仮に有利な起債（借金）ができなくてもやりきる予定です。

津山に新設予定の中高一貫校が与える影響は？

問 津山市に中高一貫校が新設されるが近隣の高校の深刻な定員割れ問題や統合問題又、不登校の生徒の受け皿となりえるのか、そして優秀な人材を地元引きとどめることにつながるのか？

答 町長 影響があると考えられ、受験のために住所を移されると困る。勉強の出来る子供が集中しても不登校の解消にはつながらない。

県北の学力向上に貢献してほしい

答 教育長 平成27年度開設を目指して中高一貫校と定時制高校の設置を県の教育委員会が検討しています。我が町の中学校としては地元の学校に行かないことから反対の意見が出されているようです。

不登校の受け皿としては定時制高校を期待しております。

島根原発の避難者受け入れについて

問 島根県は島根原発が事故を起こした場合の39万人にのぼる大規模な避難計画を発表した。避難者受入についてどのような要請が来ているのか？地域防災計画の見直しに影響があるのか？又、県からの援助があるのか？

勝央町に被害がなければ受け入れる

答 町長 10月22日付で岡山県知事から原子力災害時に1067名の受け入れ要請を受けた。島根原発が地震被害を受けても勝央町に被害がなければ、指定した避難場所を受け入れる方針です。

南海トラフ地震等を想定すれば勝央町の地域防災計画に被害想定を反映していくこととなります。その際の費用は基本的には被災した自治体や県が負担しますが、できない場合は国が補てんすることになります。



末菅満江 議員

日本で最も安全な町宣言

してはどうか。

町長 すぐには出来ない

問 6月の定例会で良い提案ですと言われたが検討していただいているか。

宣言してから、重点的に予算を取り整備していったらどうか。宣言することで、定住人口の増加、新たな企業誘致が見込まれる。

答町長 すぐに安全宣言は出来ない、日本一安全な町になるよう努力する。良い提案と言ったのではなく、面白いと言った。

旧美術館を地域活性化の拠点に

問 コミュニティ・カフェに使用し、地域活性化のため活動拠点にしてはどうか。

運営する人材については、協力隊のように全国から募集しても良いし、町内の農業就

業者や子育てサークルの方からやってみたいという声も聞いている。

文化財的な施設か、実際に使用できるのか検討する

答町長 25年度当初予算で調査費として10万円計上した、文化財として保存するか実際に使用するか決めたい。

答教育振興部参事

文化財保護委員さんからも保存すべきだと言う意見を頂いている。古い建物に見識のある方に意見を聞き方向を決めたい。

美作国1300年の町事業、支出について

問 今年度プレ事業として行ったものについての収支はどうか。反省点あったのか。

来年度予算はどの程度見

込んでいるか。メインイベントと、勝央町の連携はどうなっているのか、町独自の事業は考えているのか。

主な事業は角土俵相撲大会など

答町長 来年度事業として主なものは、街道祭り(11月上旬)、角土俵相撲大会(6月)、野村萬斎狂言(5月)などを予定している。

答教育振興部参事

街道祭り収支は収入(町より160万、エネルギー財団15万円、県より、テント出店料、お茶売上8万5千円)約210万円、支出(のぼり6万3千円、出演者・ボランティア食券30万円、ポスター等印刷代25万円、テントリース料28万円、音響30万円)

約190万円、反省点としては、町民へのアピール不足、多くの共同開催は解りにくい。

答産業建設部参事

1300年事業の総予算は25年度8400万円で、勝央町負担は3000万円。町単独事業については1事業1000万から3000万円の予定。

NARUTO列車に関連して、ノースヴィレッジでの忍者修行、おもしろラリーは町歩きスタンプラリー(4月～11月)、ミステリー・ツアー(10月～12月)。もも、ぶどうを使ったスイーツの食べ歩きなどを企画している。

きんとくんの活用について

問 勝央町産のものにきんとくんブランドとしてシールを貼ってはどうかという意見が出て、町長はそれはすぐにでもやりたいと言われているがどうなっていますか。ゆるキャラグランプリで岡山県内では一位だったので今がチャンスだと思う。

シールについてはこれから検討

答町長 きんとくんシールを貼る基準を作り、制作する方向で検討する。タオルを作りファーマーズで販売する。

答産業建設部参事

皆さんにイラストを自由に使ってもらえるよう町のホームページにきんとくんの部屋を作成中です。

防火水槽の管理はどうなっているか。

問 災害時の火災では断水も考えられるので、防火水槽が重要になってくる。

管理は地区又は消防団の自主的管理

答町長 防火水槽は土地所有者から借りている状態です。

無償で地区に譲って頂ければ有り難い。

答総務部参事

防火水槽は町内現在165箇所、すべて民地で減免申請用紙を毎年区長さん宛に出している、補修費用として20万円を限度として補助している。



村上雪子 議員

災害から身を守る適切な

情報のあり方について

町長 もっとPRをして推進を図りたい

問 地元の河川氾濫情報など住民にどう情報を流し避難行動を指示するか、無線放送で緊急を知らせても無線の取り付けてない家庭には情報が入らない。基本的には町民全員に漏れなく隅々まで緊急情報が届くようにしなければならぬ。町ホームページで緊急情報を流してもインターネットの普及率はまだまだ低い、それに比べ携帯電話はほぼ大半の方が持つておられ携帯に緊急情報を流し家族の中で誰かが気付けばいち早く避難行動が取れます。聞けば既に勝央町は大手携帯電話会社3社と契約を済ませ緊急速報エリアメールとして地元の非難情報を発信できるようになっていました。良いシステムが導入されていますがPRの不足を感じてお

ります。高齢者の方の携帯に自分で設定できるマニュアルを広報誌半ページ使っても掲載をして町民全員の登録を目標に呼びかけて欲しいと思います。又職員に緊急連絡網をどのように構成し連絡をとるかお聞きします。

答町長 町内に定点カメラが

石生・前田橋・東吉田上橋に設置され観測情報が得られる水位計があり確認できます。役場職員や消防団等が見回りをして総合的に判断し避難指示を出します。又町内には7基の屋外無線があり有効に活用して緊急情報を流します。携帯電話会社ドコモ・au・ソフトバンク登録を済ませており地元の緊急情報を知らせます。こういった活用PRを十分に図って行



定点カメラで見る東吉田水位計

きたいと思っています。職員の緊急連絡網は1次配備・2次配備・3次配備とあり1次配備は三役に情報を知らせて班分けをして配備する。2次配備は交代で直ぐに出られる体制を整える。3次配備は避難勧告が発令する事態になるので全員を召集します。電話等で行っております。自主防災組織にも働きかけ地域の中で弱い方々を援助する体制づくりコミュニティづくり

で取り組んで頂きたい。災害等で亡くなられる方が一人でも出ないような防災体系を構築して行きたいと考えております。

問 認知症の患者が増加傾向にありますどのように対策を考えているか？

答町長 治療が難しい病気です。早期発見し治療すれば進行を遅らせることができます。又認知症は誰が発症するか分かりません。自己予防の為に認知症予防対策やフォーラム・講演会・シンポジウム・学習会などをして頂き皆さんが参加して予防の勉強会をしてはどうか？又、病気に対して理解力や認識力を高めて頂き回りから患者を抱えている家族の精神的負担を和らげ隠すことなく誰にでも相談できる環境をつくることも大切です。

新たな取り組みも検討し事業企画して参ります

答町長 町内認知症患者が2008名いらっしゃいます。24年度の相談件数が90件ご

ざいました。家族や回りの方が早期に発見して早期に治療をすることが大切です。症状を見逃さないような知識は日頃から備える事も大事です。早期発見や相談体制を充実させるような事業・青年後見制度・認知症の人と家族への支援も現在やっておりますが、もっとPRは重要であると考えています。勉強会へ参加できる機会を沢山もつことも検討をして参ります。



いきいき脳トレ健康教室





植月 彬 議員

きんとくを町益に

結びつけた

町長 使用の依頼がすでに数件きている

問 自治体のマスコットキャラクターともいわれる通称「ゆるキャラ」の24年度のグランプリ大会が行われ、わが町のきんとくんが岡山県で第1位に輝きました。

今やこの「ゆるキャラ」の人気は想像以上の活躍で、23年度の全国第1位の熊本県の「くまモン」の経済効果は新聞の発表で約118億円に上るとありました。

「きんとくん」もこれにあやかり特産品の販売に利用したり、さらにグッズやシール等を作り販売に結びつけ町益に役立てることができないか。

答町長 かなりの反響がありました。すでに滋賀大学経済学部の学生あるいは、雑誌社の宝島社、NTTのタウンページの関係部門など使用についての依頼がありました。



ぼくも働くぞ!!

これらについてはきんとくんのイメージを壊さない範囲での使用を許可しており、勝央町のPRにつながって行くことを期待している。このことが経済効果に反映されるように新たな特産品の開発を急ぎ、収益につながり勝央町の活性化に結びつくように考えている。また町内には中国縦貫道のサービスエリアもある

り全国に向けて発信する環境は十分で、グッズや特産品の販売に協力を要請していきたい。わが勝央町は果物のモモ、ブドウ、梨など農産物の栽培も多くこれらからの特産品の販売にも期待をよせたい。

田園アートはできないか

問 昨今全国各地で田園アートとして田んぼに異なる品種を植えて、いろいろな模様デザインを作り楽しんで稲作りをされている農家、地区がある。

さらに地区によれば力カシを立てて祭りの余興の中で、楽しんでる地区もある、さいわい勝央町の北部には県内でも有数の広い面積の田んぼがある。もし田んぼ所有者の了解が得られるならば勝央北

小学校の子どもたちとのイベントとして共有できないか。

世代間の交流の場に

答町長 地域づくり・まちづくりとしてのイベントとして、地域の連携をはかる目的で田園アートをしている農家や地区がある。町内では豊久田下で昨秋に祭り行事の一環で、力カシを25体ほど作られたかなりの盛況で多くの人たちが賑わいました。こうした試

みは地域の連帯感を生み、活性化にもつながり、地域に住むことの魅力づくりにもなるものと思います。ただ異品種の米を同じ田んぼに植えるのは作柄の弊害がでないかどうか、田んぼの所有者にとつて受け入れられないのではなか。しかし力カシアートの場合はその心配もなく、イベント行事としてPRをして地域の活性化につながることを期待したい。

こんなイベントは!



奈良県明日香村力カシ祭にて



福田 弘 議員

25年度予算について

町長 地域のコミュニティ強化に取り組んでいく

問 25年度予算について、特に重点とされるものはどういったものなのか。

答町長 基本的には昨年と同様の施策を打って出たい。安全安心のまちづくりを基本

として、子育て支援、学校教育の充実、それから高齢者に対する対策、農業農村の振興、6次産業化そういったものの振興を図りたい。安全安心のまちづくりといいながらも、一番気になっているのが社会資本の老朽化です。順次整備計画を立てながら更新していく。ひとつは、地域の連携、地域のコミュニティ、そういった人と人とのつながり、これが全ての分野に関連します。

減災・防災マップについて

問 3、4年前から各地区で、作っているが、まだ作っていない地区への町としての対応はどうするのか。

地域での共助の啓発

答町長 一番は自分の身は自分で守るという自助、その次は共助というように地域の方で助け合う活動に向けて町としても推進、説明を行なっていく。そして、町全体の防災マップも作ります。地域内でも、自主防災リーダー研修に2名ずつ出てきていただいております。その方や、区長さん、消防団が中心になってそのエリアで地域の安全マップ作りなどの取り組みについて町としても啓発を行いたい。

答三好参事 美作県民局の事業のモデル事業として、上

香山地区、豊久田地区が制作を致しています。現在、町の方で防災計画を見直して、町のハザードマップを作成します。

教育機関のガラスに飛散防止のフィルムを

問 大規模地震・竜巻・大型台風等により窓ガラスが割れ、怪我をする園児・生徒等が出ることも考えられる。そういうことがないように飛散防止のフィルムをガラスに貼って飛び散らないようにする対策を取ってはどうか、地域の避難場所の安全性にも係ることです。

安全面から検討する

答町長 防災・減災の観点

からそういった部分にも活用が広がっている。施工費含め平米1万から1万1千くらいで高いもので2万2千5百円という単価です。学校等避難施設を調査検討したい。

県北の医師不足について

問 いくらい病院が出来て診察機器があったとしても、それを使いこなせるだけの人がいない。津山周辺県北の地域がひとつになり、行政として力を貸す体制が取れないか。

三次救急に負担が掛からないようPRする。

答町長 人口に対する医師数は、平成22年度において岡山県全体では、10万に対して282.9人。津山英田圏域に於いては184.7人で、県平均より98.2人少ない状況です。1箇所に偏らない医師の確保、医療機関の機能分担や連携について検討している。そうした中で、県北唯一の三次救急の津山中央病院に偏った負担がかかっている。最初はかかりつけの医者さんへ、そこから高度な医

補聴器の補助について

問 対象者はどうなっているのか。町民の方々にも周知徹底をする意味でお尋ねします。

対象者について

答町長 別紙の通り。

①聴覚障害の身体障害者手帳を持っている人

年齢	対象となる補聴器	利用者負担額	
		世帯区分	負担額
18歳以上	相談所で最過と診断された補聴器	生活保護世帯・住民税非課税世帯	0円
18歳未満	耳鼻科医師が判定するもの	課税世帯(最多課税者の町民税所得割額が46万円未満)	1割
		課税世帯(最多課税者の町民税所得割額が46万円以上)	全額自己負担

②軽度・中等度の聴覚障害がある18歳未満の人

年齢	対象となる補聴器	利用者負担額(保護者の課税状況を調査します。)	
		世帯区分	負担額
18歳未満	耳鼻科医師が判定するもの	生活保護世帯・住民税非課税世帯	3分の1
		課税世帯(最多課税者の町民税所得割額が46万円未満)	
		課税世帯(最多課税者の町民税所得割額が46万円以上)	全額自己負担

平成24年 第4回定例会

平成24年12月12日～21日

議案審議内容

■専決処分の承認を求めることについて

一般会計補正予算 471万6千円を追加する（衆議院議員選挙費）

■勝央町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について

介護保険料の改定に伴い、住民税課税第一被保険者の保険料を抑制する為、段階別基準合計所得額を据え置くものである。

■勝央町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

地域主権改革一括法に係る廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、引用する条例の一部を改正するものである。

■補正予算案件5件

・一般会計補正予算

4千122万7千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ53億4千952万8千円と定める。

主なもの

- ・高齢者の希望者へLEDライト配布
- ・障害者自立支援給付費
- ・畑屋本線迂回路工事費など

■介護保険特別会計補正予算

646万8千円を追加し総額を11億5千847万7千円とする（高額介護サービス給付費の増額）。

■国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

2千168万4千円を追加し、総額を13億3千794万7千円と定める。

- ・一般被保険者の療養給付費等が増額の為補正
- ・介護給付金の財源の組替

- ・保険財政共同安定化事業拠出金額の確定
- ・保険事業費の特定健康診査等事業額の確定

■農業集落排水事業特別会計補正予算

42万円を追加し総額を1億4千760万4千円とする（繰入金金の確定）。



畑屋本線始まる幅拓

■公共下水道事業特別会計補正予算

1千568万4千円を減額し、総額を7億36万3千円とする。長寿命化工事の実施に当たり詳細な検討が必要な工事分として1千840万円を次年度へ繰越。

■上水道事業会計補正予算書

収益的収支を476万7千円追加し総額を4億1千701万3千円とする。
基本的収入額が基本的支出額に対して不足額1億1315万1千円は過年度分損益勘定留保資金1億2928万1千円で補てんする。

組合議会報告

◎津山圏域東部衛生施設組合

開催日9月24日

主な議案

- ・平成23年度一般会計歳入歳出決算認定
- ・平成24年度一般会計補正予算(第一号)
- ・専決処分承認1件

◎勝英衛生施設組合

開催日10月12日

主な議案

- ・専決処分承認1件
- ・平成23年度一般会計歳入歳出決算認定

- ・平成24年度一般会計歳入歳出補正予算(第一号)

◎勝田郡老人福祉施設組合

開催日11月29日

主な議案

- ・平成23年度一般会計歳入歳出決算認定
- ・平成23年度介護事業所会計歳入歳出決算認定
- ・平成24年度一般会計歳入歳出補正予算(第一号)
- ・平成24年度介護事業所会計歳入歳出補正予算(第一号)
- ・監査委員の選任意意

◎津山圏域消防組合

開催日11月22日

主な議案

- ・平成23年度会計決算認定
- ・平成24年度会計補正予算(第2次)
- ・火災予防条例の一部改正

◎津山広域事務組合

開催日時11月22日

主な議案

- ・平成23年度一般会計歳入歳出決算認定
- ・ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定

◎勝英農業共済事務組合

開催日11月13日

主な議案

- ・平成23年度農業共済事業会計決算認定
- ・専決処分の承認4件

◎津山圏域資源循環施設組合

開催日11月12日

主な議案

- ・平成23年度会計歳入歳出決算認定
- ・一般廃棄物処理施設設置条例制定について
- ・工事請負契約について

以上6組合議会全議案が司決承認されました。

陳情・要望

●透析患者の通院費用に對しての助成に関する陳情書

提出者

特定非営利活動法人岡山県腎臓病協議会
理事長 早川 幹雄
他1名

不採択

理由 すでに他の助成関連の予算を組んでおり透析患者だけを対象とすることは問題が多いため。

●安心・安全の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情

提出者

岡山県医療労働組合連合会
執行委員長 福田 幸恵

提出者

●介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情

提出者

岡山県医療労働組合連合会
執行委員長 福田 幸恵

提出者

岡山県医療労働組合連合会
執行委員長 福田 幸恵



勝間田駅前の町の看板

「議会にひとこと」
アンケートにご協力をお願い致します。

平成23年度 一般会計歳入決算書

(単位：千円)

区 分		平成23年度決算		平成22年度決算		比 較 増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減比率
自主財源	町 税	1,796,682	32.9%	1,782,322	33.1%	14,360	0.8%
	分担金・負担金	142,404	2.6%	145,661	2.7%	△3,257	-2.2%
	使用料・手数料	34,701	0.6%	35,530	0.7%	△829	-2.3%
	財産収入	6,720	0.1%	5,862	0.1%	858	14.6%
	寄付金	450	0.0%	165	0.0%	285	172.7%
	繰入金	67,497	1.2%	32,268	0.6%	35,229	109.2%
	繰越金	455,844	8.4%	297,074	5.5%	158,770	53.4%
	諸収入	69,804	1.3%	82,441	1.5%	△12,637	-15.3%
	小 計	2,574,102	47.2%	2,381,323	44.2%	192,779	8.1%
依存財源	地方譲与税	70,255	1.3%	82,793	1.5%	△12,538	-15.1%
	利子割交付金	3,868	0.1%	4,005	0.1%	△137	-3.4%
	配当割交付金	2,455	0.0%	2,150	0.0%	305	14.2%
	株式等譲渡所得割交付金	503	0.0%	765	0.0%	△262	-34.2%
	地方消費税交付金	114,534	2.1%	117,611	2.2%	△3,077	-2.6%
	自動車取得税交付金	13,881	0.3%	17,952	0.3%	△4,071	-22.7%
	地方特例交付金	16,271	0.3%	19,391	0.4%	△3,120	-16.1%
	地方交付税	1,776,971	32.6%	1,703,192	31.6%	73,779	4.3%
	交通安全対策交付金	2,087	0.0%	2,294	0.0%	△207	-9.0%
	国庫支出金	329,546	6.0%	413,600	7.7%	△84,054	-20.3%
	県支出金	274,455	5.0%	293,938	5.5%	△19,483	-6.6%
	町 債	278,579	5.1%	346,315	6.4%	△67,736	-19.6%
	小 計	2,883,405	52.8%	3,004,006	55.8%	△120,601	-4.0%
合 計		5,457,507	100.0%	5,385,329	100.0%	72,178	1.3%

平成23年度決算審査
委員長報告要旨

●一般会計

〔歳入〕では地方税では若干の景気回復により法人税の増となっている。全体としては前年度繰越金と地方交付税の増であるが、国県の補助金の減額が増えた分自主財源の比率が伸びた。

〔歳出〕

・議会費が議員共済負担金増主なもの。

・総務費ではユビキタス・庁舎空調・電源設備工事が終わり、財調基金の2億5千万円が3億円増となっている。

・民生費では障害者自立支援給付費や児童手当に代わる子ども手当の増が主なもの。

・衛生費では東部衛生負担金や津山資源循環負担金の減が主なものである。

・労働費では岡山県重点分野雇用創出事業による増が主なもの。

・土木費では公共下水道備

完了に伴う減が主なもの。

・消防費では岡山県消防補償組合負担金の増が主なもの。

・教育費では小・中学校工アコン設置工事による増が主なもの。

・災害復旧費では現年災害の減による。

●特別会計

・上水道事業では純損失6,071千円を計上しており、主な要因は給水収益の減によるもので、毎年このような状態が続いている。有収率は80・22%で給水管老朽化による漏水等に加え、寒波による水道管の破裂等による漏水が多発したものである。

早急に原因箇所を調べ改善に努めてほしい。

平成23年度 特別会計決算書

(単位：千円)

区 分	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	1,274,704	1,154,588	120,116
公共下水道事業	763,474	747,180	16,294
農業集落排水事業	148,113	145,568	2,545
宅地造成事業	69,618	66,807	2,811
勝田郡介護認定等審査会	4,191	3,840	351
介護保険(保険事業)	1,056,937	1,005,978	50,959
介護保険(サービス事業)	6,297	6,296	1
勝田郡障害者地域生活支援事業	17,559	17,477	82
後期高齢者医療	110,086	109,331	755
住宅新築資金等貸付事業	6,653	53,365	△46,712
上水道事業	320,442	386,513	△66,071

平成23年度 一般会計歳出決算書

(単位：千円)

区 分	平成23年度決算		平成22年度決算		比 較 増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減比率
議 会 費	89,429	1.8%	66,008	1.3%	23,421	35.5%
総 務 費	455,127	9.2%	555,209	11.3%	△100,082	-18.0%
民 生 費	1,497,273	30.3%	1,419,375	28.8%	77,898	5.5%
衛 生 費	343,287	6.9%	369,168	7.5%	△25,881	-7.0%
労 働 費	5,500	0.1%	5,520	0.1%	△20	-0.4%
農林水産業費	284,323	5.8%	289,185	5.9%	△4,862	-1.7%
商 工 費	62,129	1.3%	65,270	1.3%	△3,141	-4.8%
土 木 費	557,978	11.3%	596,536	12.1%	△38,558	-6.5%
消 防 費	187,828	3.8%	172,880	3.5%	14,948	8.6%
教 育 費	465,427	9.4%	394,241	8.0%	71,186	18.1%
災害復旧費	14,841	0.3%	58,017	1.2%	△43,176	-74.4%
公 債 費	676,572	13.7%	686,903	13.9%	△10,331	-1.5%
諸 支 出 金	300,885	6.1%	251,173	5.1%	49,712	19.8%
合 計	4,940,599	100.0%	4,929,485	100.0%	11,114	0.2%

決算審査報告要旨

監査委員 国政眞一

●①上水道会計では前年に比べ1,281万円程減少したが、累積損失額は4億6,081万円になり大変厳しい経営となっている。原因は有収率が低調で、前年対比0・38%も悪化している。その結果1m³での供給単価が220円58銭となり、給水原価は276円29銭で差引55円71銭と大幅な赤字での供給をしている。このような状況の打開策として、今後工業団地企業に水を使う企業の誘致は見込めないか、あるいは水道料金の値上げの検討も含めて積極的に講ずるよう切望いたします。

②財政健全化については一般会計及び住宅新築資金貸付事業以外の特別会計はいずれも黒字決算で、このことは自主財源の確保と行財

政経費の節減の努力として評価いたします。財政状況としては、財政力指数が0・500で前年対比0・08減の悪化、経常収支比率は79・9%で0・2%改善されている。町税全体の徴収率は現年課税分で98・8%、滞納繰越分は19・2%でこれらは自主財源の確保と負担の公平を期すうえにも効率的な収納対策に取り組むよう強く要請します。また不能欠損処分については、厳しい財政状況の下で町債権の放棄ともいえるもので町民の納税意欲を阻害するばかりでなく、町政に対する信頼を損なうものであることを十分認識し、安易な時効完成による不能欠損処分を行うことのないよう特に留意してもらいたい。

全体としては良好な行財政運営が行われていると感じました。

勝間田保育園とんどまつり



今年も元気でがんばるぞ!!

とんどまつりをしました。
家から持ってきたお飾りや保育園で描いた書き初めや絵を燃やし、「二年間元気に過ごせますように」「字や絵が上手になりますように」とお願いしました。おでこにお飾りを焼いた後の灰をつけてもらおうと、「風邪さん、とんどいけー。」と元気いっぱい空に向かって叫んでいました。

平成24年度 勝央町成人式



新成人の活躍に期待します

1月13日勝央町文化ホールで平成24年度成人式が行われました。今年は男女合わせて123人で、後ろの座席ではお父さん、お母さんが我が子の成長をたのもしそうに見守っておられました。新成人代表の挨拶では地域への思い、家族への思いをつづった言葉があり、次代を担って力強く生きていってほしいと感じました。

編集後記

新年あけまして
おめでとうございます

本年も議員一同、町民の皆様方に生きていく楽しさが肌を感じていただけのような議会活動を目指して参りたいと思っています。よろしくお願ひ申し上げます。東日本大震災から早2年を迎え、一日も早い復興が待ち望まれる日々でございます。経済では長いデフレに苦しみ、昨年12月に総選挙が行われ、自民党安倍内閣が誕生致しました。次々と政策戦略の三本の矢が発表される中、言葉のみで株価が上がり、輸出日本に有利な円安方向に大きく動いています。しかし、失われた20年とよく言われていますが、その大半である長い政権は自民党であったことを、我々は忘れてはなりません。今年は巳年。暗く長いトンネルから早く脱皮して、国民全員が同様に明るく、そして生きている喜びが肌で感じていただけるような日々が過ごせますような行政を重ねて念じてやみません。

広報委員 水島 孝